

反対の立場から討論

本補正予算は歳入歳出総額が 2 億 2 千 6 百万円余で主には追加財政需要等への対応として様々な予算が計上されていますが、本補正予算の大きな特徴は、調布駅南地下自転車駐輪場整備工事費に関して歳入歳出共に 3 億 9000 万円余について補正を行う点にあります。特に歳入では社会資本整備総合交付金・市町村土木補助事業費補助金、基金、市債、債務負担行為に関連した財源が計上されています。今事業はそもそも平成 26 年度予算審議に置いて、整備費にかかる予算を除いた修正案が可決するという当初より課題の多い事業で市民の関心の高い市民広場と密接な関係がある予算でもあります。今補正は、駅前広場樹木について市民要望に寄り添うべく設計変更するための提案との事ですが、これまでの市民会議等のやりとり等も含め、より多くの樹木を残せるよう努力された職員の努力は理解するものの、昨年 9 月議会より参加と協働のまちづくりの視点から計画段階からの市民参加と情報提供を求め質問もしてきた経緯がある中で、反対する大きな理由は 2 点

○市政経営の原則である「参加と協働のまちづくり」に反する市長の政治姿勢です。

○中心市街地等基盤整備特別委員会の審議の中で出た問題についての疑問

○今議会での一般質問において広場空間の整備について、情報共有しながら市民理解を得、市民との協働で、創り上げていくために、市長自らが公開の場で新たな整備案を市民に説明するべきとの質問に対して、再々再質問もして市長自ら市民の前に出て対話する意思があるのか確認しましたが、市民との情報共有をする為の市長としての説明責任を果たすべく明確な答弁を得ることができませんでした。

○特別委員会では広場整備におけるトイレの配置等、これまで委員会で積み上げてきたやりとりとは異なる理由での変更であり、またその際には設置の有無まで挙げたことは理解できないことです。

○今回は時点修正との説明ですが、8 月の委員会でのやりとりでは地下駐輪場の区域について若干でも変更をする際には都市計画変更が必要なのかとのやりとりで、今示している計画図で都市計画決定している。駅前広場、グリーンホール側との境界に今位置をしているが 1 メートル離れるような図面を描く場合は、当然変更が必要。都市計画変更手続には 1 年程度必要とのやりとりがあった。今回の変更が計画変更内の事なら、何故、質疑の際にまだ検討の余地があるとの話がなかったのか、そもそも都市計画決定と説明されてきたこれまでの内容が疑問。

○時点修正というには大幅な修正、今後の広場の全体像がまだ示されていない中、特区についての説明も明確さに欠く内容であったこと。

以上様々な疑問がある中で、市長自らが市の 100 年の計とも位置づけられた事業の最終段階にあっても解決に向けた自ら汗をかくことを明言しない姿勢は、自ら初当選された際に「いつでも、またどこへでもみずから足を運んで、誠心誠意働かせていただく覚悟」という所信表明で語った政治姿勢にも反します。4 期 16 年の積み残しとして駅前広場整備事業について広場の全体像を明らかにし、指摘した点等を含め、再検討し、自治基本条例にある参加と協働のまちづくりに向けて、再提案することを求め反対の討論とします。